

「これからの滋賀県立図書館のあり方」 行動計画自己評価一覧表

重点的な取組項目	平成30年度取組状況	課題・今後の方針	数値指標	目標値 (平成30年度)	実績	達成率	自己評価
1. 全ての県民へ向けたサービスの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・協力貸出(31,759冊 うち購入1,200冊) ・所蔵館紹介(507件 うち県外412件) ・協力レファレンス(89件) ・HPの改善(FAQページの追加) ・障害者サービス用資料の整備(大活字本60冊・録音図書33点・マルチメディアDASY125点) ・読書支援機器整備(多機能拡大読書器1台、DAISY図書再生機1台、オーバヘッドスキャナ1台、マルチメディアDAISY再生用タブレット3台) ・外国語資料整備114冊 ・来館困難な方への郵送貸出(1,354冊) ・文化ゾーン施設等連携事業3回 ・県民への活動の場提供(土曜サロン12回、パネル展示2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・県民に確実に図書館資料を提供するために、市町立図書館からの未所蔵資料へのリクエストについては購入での対応を基本とし、所蔵館紹介を併せながら必ず提供を行っていく。 ・図書館利用に配慮が必要な人々の読書への障壁を軽減するために、整備した読書支援機器等や資料について利用者や関係機関への周知を図り利用を促進する。 ・文化ゾーン連携事業・県民活動の発表の場の提供について引き続き実施するとともに広報にも努める。 	県内公立図書館の県民一人当たり貸出し冊数	7.80冊	7.75冊	99.4% △	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれの指標も90%以上ではあるものの達成には至らなかった。 ・全ての県民へ向けた図書館サービスを充実させるには、リクエスト制度のさらなる周知により図書館の利用につなげるなどの取り組みが必要である。
			県内公共図書館への協力貸出し冊数	33,000冊	31,759冊	96.2% △	
			図書館ホームページアクセス件数	380,000件	349,272件	91.9% △	
			県立図書館来館者数	240,000人	226,551人	94.4% △	
2. 県内各図書館の人・資料・情報をつなぐネットワークの整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・協力車による司書の巡回(各拠点館6回 各地域館2回) ・司書巡回における担当制の実施 ・図書館職員向け研修の開催(5講座) ・市町立図書館職員の研修受入(1名 5日間) ・県公共図書館協議会における統計業務に関する事例研究(参加者25名) ・大学図書館連絡会への参加(2回) ・県外図書館との相互貸借(貸出1,526冊 借受287冊) ・国立国会図書館へのレファレンス事例提供(44件) ・中国湖南省図書館との資料交換(100冊送付、50冊受取) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町立図書館職員とのより緊密な情報交換や有効な助言を行うために、司書巡回について昨年度導入した担当チーム制の検証を行い、巡回体制を検討する。 ・県内図書館職員の資質向上のために、引き続き県立図書館主催の研修5講座を開催し、満足度の高い研修を目指す。 ・レファレンス事例の提供は全国的なレファレンス業務の向上につながるだけでなく、当館の広報にもなるものとして引き続き積極的に行う。 	県立図書館職員が訪問した市町立図書館の延べ館数	183館	200館	109.3% ○	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの指標とも目標を上回った。 ・資料提供に対する市町立図書館の満足度に関して、不十分であった部分については各図書館ごとにきめ細かな対応をし、満足度の向上を図る必要がある。
			県立図書館による資料提供に対する市町立図書館の満足度	80%	87%	108.8% ○	
3. 地域の課題解決に向けた情報提供・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・産業育成のための基盤整備事業による工学・ビジネス関連図書整備(834冊) ・県施策等に関連した図書展示(5回) ・県の施策や各部署の取組を紹介するパネル展示(4回) ・県機関主催セミナー等への出張展示(16回) ・県機関への図書貸出(5機関 656冊) 	<ul style="list-style-type: none"> ・県民の学びをさらに深める機会を提供するため、引き続き県主催のイベントやセミナー等への出張図書展示を実施し図書館資料の紹介をするとともに、展示会場において県立図書館をアピールして利用の促進を図る。 ・県政の課題解決支援のために県機関への資料の貸出しやレファレンスを引き続き実施するとともに、そうした県立図書館の機能を県機関へ広報する。 ・県の取り組みを県民に広報する場として、引き続き県立図書館のスペースを県機関のパネル展示等に提供し、併せて関連図書展示を行う。 	県関係部局との連携展示回数	23回	21回	91.3% △	<ul style="list-style-type: none"> ・目標回数には至らなかった。 ・図書館のこうした活動を県庁内に広く知らせることで連携先をさらに開拓していく必要がある。

達成率については、実績/目標値を○△で評価
○100%以上
△100%未満

「これからの滋賀県立図書館のあり方」 行動計画自己評価一覧表

重点的な取組項目	平成30年度取組状況	課題・今後の方針	数値指標	目標値 (平成30年度)	実績	達成率	自己評価
4. 子どもの読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 児童室へ県産木材製書架の寄贈受け入れ 児童室紙芝居の配架改善 児童書研究室のレイアウト改善 ひとり親サポートだよりにおける図書紹介 県機関主催の講座等への講師等派遣(7回) HPに学校図書館向けページの開設(リニューアルマニュアルや学校図書館支援用図書リストの公開)、および子どものページへの読み聞かせ用大型紙芝居の目録を掲載。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き児童書の全点購入による閲覧・貸出用資料の整備に努める。 新規事業「子どもの読書に関わる人々への支援事業」において、常時利用できる研究・選定用資料の整備に努めるとともに、資料の展示会や講座等への出張展示などを通じて各図書館や団体等に周知して利用を促進する。 子どもの読書への理解を広げるために、県機関の実施する講座等へ講師の派遣を行うとともに、当該機関と協議して有効な講座となるよう支援する。 子どもが自ら楽しんで読書できる環境づくりのため、新規事業「楽しむ読書応援事業」において、学校図書館のリニューアルや運営改善を支援する。 学校図書館の活性化に向けて、学校図書館支援用図書の広報に努め、利用の促進を図る。 	県内公立図書館の児童図書貸出し冊数 (12歳以下の県民一人当たり)	24.2冊	24.1冊	99.6% △	<ul style="list-style-type: none"> 児童書の貸出冊数については目標にはわずかに達しなかった。 子どもの読書活動の推進については、市町立図書館や関連機関等と連携して保護者の啓発や子どもの読書に関わる人々(読書ボランティア等)への支援を行うとともに、子どもに身近に本がある環境を作り出すために、学校図書館のリニューアル等読書環境の整備をさらに広めていく必要がある。
			学校図書館支援用図書の貸出し冊数	320冊	537冊	167.8% ○	
5. 図書館サービスについての情報発信・周知	<ul style="list-style-type: none"> 図書館書庫探検3回(181人) ホームページ上における情報発信(127件) メールマガジンによる新着図書や行事案内(新着図書50回 行事案内3回) 行事等の報道機関への資料提供(22回) 外部媒体における県立図書館紹介。(地域情報誌1回、テレビ放送1回、新聞6回) 滋賀県公共図書館協議会において滋賀県の公共図書館をアピールするポスターを作成・配布(800枚) 	<ul style="list-style-type: none"> 県立図書館の資料やサービスを知ってもらうため、引き続き様々な媒体を利用して図書館利用を促すための情報発信に取り組む。 資料提供を行うとともに、メディア等に掲載されたことをホームページ等でもアピールしていく。 	報道機関等への資料提供回数	21回	22回	104.8% ○	<ul style="list-style-type: none"> 目標回数を上回った。 提供した事柄が掲載されるよう、表現方法を工夫してアピール力を高める必要がある。
6. 図書館サービスを支えるための基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> 滋賀資料・水資料をはじめ、専門書や学術書を重視した図書整備(滋賀資料1,370冊・水資料291冊・参考図書644冊・行政資料693冊) 市町立図書館からの移管図書受入(図書642冊 雑誌164誌) 研修等参加(のべ43人、うち県外研修等への参加8名)および館内職員研修の実施(8回) 	<ul style="list-style-type: none"> 県民の知の拠点となる資料整備のため、引き続き全県的な利用を考慮した資料の整備に努める。 資料整備の方向を明確にするため、図書整備計画の策定に取り組む。 資料保存センター業務については、より有効な方法について市町立図書館と協力しながら検討を進める。 司書の専門性の向上を継続的に図るため、職員の研修の機会の確保に努める。 	年間受入冊数	19,860冊	21,170冊	106.6% ○	<ul style="list-style-type: none"> 2つの指標ともに目標を上回った。 滋賀資料・水資料においては市販資料だけでなく、非売品等の刊行情報を捉えて積極的に寄贈依頼等を行うことにより資料の整備を行い、受入れ冊数を伸ばすことができた。 当館職員の研修については、可能な限り県外への参加を行うとともに、自館または県内で外部講師を招いての研修には積極的な参加を促し、目標以上の人数が参加することができた。
			県立図書館職員が研修に参加した延べ人数	31人	43人	138.7% ○	

達成率については、実績/目標値を○△で評価
○100%以上
△100%未満